

来春、海外初
東南アジア強化

ラーメン店展開 ウィズリンク マレーシアにFC店

ラーメン店「はり鳴」などを展開するウィズリンク（広島市安佐南区）は来春3月、海外初のフランチャイズ（FC）店をマレーシアに開く。FCを中心に東南アジアで出店を強め、2018年3月までに海外30店を目指す。

（山本賢二朗）

FC1号店は、クアアで63席。日本とはほぼ同ラルンフル市中心部「じとんこつしょうゆ味」のショッピングモールをベースに7、8種類に出す。165平方メートルのラーメンを想定。現



ウィズリンクがマレーシアに開く、海外で初のFC店のイメージ図

地向けに辛みのあるラーメンも提供する。麺は店舗で作りスープやたれは日本から送る。価格は700〜800円程度と、現地の一般的な店の約2倍にする。年9800万円の売り上げを見込む。

現地のIT関連機器の販売業者たちが8月、FC展開する会社をつくった。4年以内にマレーシア国内で10店に増やす方針。

ウィズリンクは昨年11月、初の海外店を直営でシンガポールに開き、2店を運営している。江口義彦社長は「FCで地元言葉や生活習慣に精通する人に任せた方がうまくいく。他国での展開に向けて弾みをつける」と意気込む。